



「人として生きていくための勇気と自信を培うサポート活動」

「40歳くらいまでのひきこもり経験者・不登校・学校中退・対人不安・心理面サポートを必要とされる方への居場所提供・フリースクール活動・個別指導学習サポート・家庭教師・家庭訪問・カウンセリング面談・各種相談活動」

「信じる」

この春から進学・就職をはじめとしてそれ以外でも環境や、状況が変わるとか変えようとしている人など結構多いと思います。

そこで・・・私の考える、はなむけの言葉。
(そらそうやん、と突っ込まれるかもね)
(前にも聞いた、と言われるかもね)

<本人様へ>

「選択肢決定材料は0や100にはならない」

「最後は結果を信じて選ぶ」

人間関係でも物事でもたいていは合う要素・魅力的な要素と苦手な要素・気が向かない要素・合わない要素が混在します。それを総合してどちらを取るのかを選んでいくしかありません。

そして良かった・悪かった、は結果でしかなく100%を保障される世界は基本無い。良いと信じて選択する、そして悪かった場合は将来の様々な選択への教訓・材料にする、それだけです。

決めたこと→実行→結果の受け止め→(良くても悪くても)次への材料としての認識→次のどうするの決定→実行・・・としていくこと、のみです。

このサイクルで難しいことが出てきたときにはいつでもご相談くださいね。理系思考土台の私なりの分析と見立てのアドバイスします。

<保護者様へ>

「アドバイスや提案はしても決断は本人に」

可能な限り小さいころから選択するための材料をアドバイスとしてすること、選択肢を提案することはしてもこうしなさい、あーしなさい(こうしたらいいよ、あーしたら良いよはほぼ同義です)で本人の生きるレールを敷かないことが必要です。

小さいころはまだ判断できないので親が導くことが多いでしょうが程度大きくなったら続ける、変える、は選択させて途中からは意思でする方向が大事だと思います。

それがもし、周りと比較して遅いとかがあっても(本人が遅いと思って早くしたい、進みたい、は意思ですからOKです)できるだけどーんと構えて待ってあげて欲しいです。

<おまけ>

「常識＝一般論＝多数派の考え」

一般論は単なる「多数派の考え」です。決まったルールの中であるなら(国レベルは法律、会社は定款、他には規約とかルールとか場所によっていろいろですね)少数論であつても構わないことはいっぱいあります。

ただ少数派は多数派と比べて同じ考え、価値観の人と会う確率が低い・・・だけ。これも信じていけば出会うと私は思っています。

<上記を総合して・・・共通結論は信じてること>

自分を信じる・息子娘を信じる
信じれる人を増やす・・・ということですね。

ちょっとでもたくさんの人・もの・ことに対して
信じていけるよう、また信じてもらえるよう
私も精進したいと思います。(南山 勝宣)



カウンセラーの目

「ストーリーは突然に」

沸き起こる生命エネルギーに突き動かされて屋上で走りつつも、エネルギーが何かに抑制されていて、充実感を感じられないという若い存在があった。

その存在は、自分のエネルギーを抑制しているのが、四方を囲んでいるフェンスでは無いかと感じ始める。

フェンスに囲まれた空間に息苦しさを感じてしまった存在が、自分を閉じ込めるフェンスを乗り越えてしまったとしても、それがすぐに死に直結するわけではない。

フェンスの外には人ひとりが立てる位の余白の場所がある。

余白の向こうは、ただ空気の層があるだけで、空気の層は存在を支えることはできないので、落下することになり、それは死に直結する。

それを認識した上で、フェンスの外の余白を生命エネルギーの赴くままに全力疾走するとき、若い存在は何かしらとてつもない充実感を感じてしまった。

30年……40年前の「青春のイメージ」というのは、そういう物語に近かったように思える。

沸き起こる生命エネルギーに突き動かされて屋上で走りつつも、エネルギーが何かに抑制されていて、充実感を感じられないという若い存在があった。

その存在は、自分のエネルギーを抑制しているのが、四方を囲んでいるフェンスでは無いかと感じ始める。

フェンスに囲まれた空間に息苦しさを感じてしまった存在が、自分を閉じ込めるフェンスを乗り越えてしまったとしても、それがすぐに死に直結するわけではない。

フェンスの外には人ひとりが立てる位の余白の場所がある。

……そう、3、40年の時間が経過したとしても、基本的な仕組みが変化するわけではない。

しかし、余白の向こうは、建物が隣接していて、10センチあるか無しかの空間……というか隙間しか無い。

そこを生命エネルギーの赴くままに全力疾走しても、ただフェンスとフェンスに挟まれ、間に10センチの隙間の開いただけの走りにくい通路が続くだけでしか無い。

若い存在に、何らかの共感を覚えた存在が、「もっと自由な世界」を提供することに協力してくれて、全てのフェンスを破壊する活動を援助してくれたとして……できあがるのは「どこまでも続く広大で均質な屋上」……そこに見えてくる世界は、全力疾走しても、歩いて、立ち止まっても、後退しても、目に映るのは同じ風景ということになる。

そういう世界で、どういう方向へ、どのくらいの速度で走るのか、歩くのか……そうすることと、立ち止まることは何か違うものなのか……そういう世界で、後退することは、立ち止まることと何が違うのか……いま世界は、そういう完全な自由を獲得し始めているような気がする。

「完全な自由を獲得し始めているような気がする」ということが表現できるのは、3、40年前にどのような世界があったかを知っているから感じられるのであって、20年に満たない歴史しか知らない存在には比較すべきものが無いので、それを感じることも難しいだろう。

多様な選択肢が用意された世界というのは自由な世界だ。

ここで良く言われたのは「昔に比べて自由になったのは良いが、自由すぎて結局選べなくなる」というセリフだった。このセリフが主張したいのは「だから、多少、不自由なくらいの方が（人生は）充実しているのだ」ということのようにだった。

でも、それは屋上がたくさんできたが、屋上と屋上の間に、人ひとりが落下してしまうのに十分な空間があった頃に成立したセリフだった。

選択肢は、まず、どの屋上に上がるか、屋上の中央付近で平坦で安全な場所を選ぶか、フェンスの近くを選ぶか、フェンスの外の余白を選ぶか……というようなもので、確かに多様だが、じっくり眺めれば数えることも不可能では無い多様性だったと思える。

そういう自由の中で自由を行使するという状況では、「選択する存在（本人）の意思（意志）」が重要な役割を果たすことになる。

だから「何をしたいのか」「どう生きたいのか」という自分を見つめる作業が重要視された。

しかし、いま近づきつつある「完全に自由な世界」では、選択肢に制限が無い。

屋上がたくさんあるというより、広大で、連続した屋上（そうすると、屋上と規定することも難しい世界）が、ただ広がっているだけ。

そうすると、少し前まで選択肢だった、どの屋上にあがるかというのが、どれも、これも区別が無くなり、選択肢になり得ない。

中央も、端も、外も区別が無く、選択肢として取り上げることができない。

そういう完全な自由の中で自由を行使しようとしても、行使することと、行使しないことの違いが感じられないということになる。

ただし、いまは「完全に自由な世界に近づきつつある世界」なので、「まだ完全な自由では無い世界」でもある。

そこでは食事をし、睡眠をとり、適度に運動をして健康を保ちつつ、生命を維持することが重要な役割を果たすことになる。

そのような世界なら、生きていても死んでいても変わらないじゃないか……と考えるかも知れないが、その部分が重要な違いということになるのだ。

「完全に自由な世界に近づきつつある世界」では、走っても、歩いても、立ち止まっても、後退しても違いを感じにくくなっていくだろうから、選択するということの重要性が希薄になっていく。

そのため、ひとつ前の「選択する存在（本人）の意思（意志）」という所から、「意思（意志）」という部分が希薄になっても問題ない状態になる。

残るのは「選択する存在（本人）」という部分だが、何を選択しても、あるいは選択しなくても変わらないのであれば「選択する」という名称で呼ぶ必要もなくなってくる。

そうすると残るのは「存在（本人）」という部分だが、「完全に自由な世界」に近づくにつれ、「（本人）」という自覚の重要性も希薄になっていくように思われる。

そうすると残るのは「存在」という部分ということになり、「生きていること（存在していること）」が重要な役割を果たすということになる。

「草食系」というコトバがあるが、この先「完全に自由な世界」により近づいていくと「植物系」でいることがよいのかも知れない。

植物（特に木など）は、「なぜそこにはえているのか」とか「どうしてはえていなくてはないのか」ということと無関係に、そこに「存在」している……しかも、物によっては百年、千年単位で「存在」している。

「あすなるの木」に対して「明日は檜になろう」ということで「あすなる」と名づけたという話があり、「明日を夢見続けて諦めない」と肯定的に受け止めたり、「いくら檜になることを望んでも、結局なれない哀れな存在」と否定的に受け止めたりする考えがあるが、それは「意思（意志）」をもって受け止めるから出てくる考えで、当の檜もあすなるも、ただ「存在」し続けているだけなので、肯定感も否定感も持っていない。

「完全に自由な世界」に近づいていくこの世界は、食事をし、睡眠をとり、適度に運動をして健康を保ちつつ、生命を維持すること、「存在し続けること」が重要な世界なのだと考える。

イベント紹介・報告

☆2月1日

アポロ活動 豆まき

例年通りに鬼は外一福は内一、で豆を投げました。鬼役の方ありがとうございました。



☆2月3日

アポロ活動 節分祭へ行こう 吉田神社

活気ある吉田神社の節分祭
出店も多く楽しかったです。
いろんな祈願をしてきました。



☆2月9日

学食 walk & 散策部 ミーティング

ミーティングの結果3月8日関西大学への学食3月25日太陽が丘へのピクニックとなりました。

2018年度は4月19日に第1回の散策部・学食のミーティングを実施します。ミーティングの参加費は無料です。参加申し込みも不要です。

☆2月14日

集い場○ 活字倶楽部

ひらがなカードで単語を作るゲームをしました。大きく優劣の差はなく、同レベルで皆楽しめました。ルールの設定で参加者からいろいろな意見が出てきたことが積極性がうかがえて良かったと思います。



☆2月15日

集い場○ 学食 walk 京都精華大学

今回は京都精華大学前の「れあた」というお店に行きました。精華大生がよく利用するこのお店は学食のようにリーズナブルでおいしかったです。その後ちょうど精華大生の卒業展示が行われていたのでマンガ学部とデザイン学科の展示を見ってきました。他も見たかったですけど時間が足りず残念。来年はこの卒展を見に行くイベントも良いかなと思いました。





☆2月20日
集い場○ 健康体操教室

からだをほぐして、ヒーリングして
体を健康にしていくそのとっかかりにな
ればと思います。毎月第3火曜日に実施
しています。
どなたでも参加可能です。詳細はお気軽
にお問合せくださいね。



ものづくりかふえ

☆2月16日

3月4日地域力アップおうえんフェアで活動展示とものづくりの販売を予定して
いますのでその準備も行いながら毎月実施しているフェルトの作品作りを行いま
した。毎月第3金曜日に実施しています。

参加日無料。作成物は希望者のみ実費でお持ち帰りいただけます。



お知らせ

☆ 機関紙の購読または設置していただける方を募集しています

- ・当所の活動報告を行う機関紙「KSCE 通信」や案内三折パンフレット・各種活動チラシ・同居団体個別指導学習塾「個別教育予備校 MES」の三折パンフレットなどをおいていただける方・場所の情報を教えていただける方などを募集しています。
- ・個人で機関紙を購読という形でご支援いただける方募集しております。機関紙購読は送料込みで年3600円でご支援をお願いしております。メール添付による個人の方は2400円・関連団体や連携団体の方は原則無料で送付させていただきます。
- ・機関紙に広告を掲載させていただくことでの広告料という形式でのご支援も募集しております。
- ・機関紙は紙面による配布とPDF形式によるメール添付形式で行っております。

☆ 賛助会員・寄付会員を募っています

賛助会員は12000円／年

寄付会員は金額は任意です。どちらの会員も機関紙による活動報告をさせていただき、会員の種類・金額により、ものづくりかふえ活動での手作り品のお礼をさせていただきます。寄付会員の方は、良ければ機関紙に寄付の方のお名前を掲載させていただけると幸いです。

☆ 物品寄贈も随時募っています

衣類・雑貨・書籍など市役所前フリマに出店して販売できるものを随時募集しています。ゴミの減量目的のリユース活動として、フリマの収益は当所の運営に充当させていただきます。NPOの苦しい会計の手助けをしていただくと幸いです。また当所の学修サポート・フリースペース提供・フリースクール活動で使用できる教材・赤本・高校卒業程度認定試験対策問題集・教科書・教科書ガイド・問題集・マンガ・小説・知育玩具・パズル・ボードゲーム・カードゲーム・スポーツグッズ・収納関係（要事前相談）・OA機器・OAサプライ等を随時募集しています。宅急便（費用はお願いしています）・持ち込みなどをお願いしております。徒歩圏内は台車でのお伺いも可能です。賛同していただける方は電話・メールでお申し出ください。もしよろしければ、通信による活動報告や、通信へのお名前の記載をさせていただけると幸いです。

京都府木津川市 匿名様、京都市北区 匿名様、東京都世田谷区 匿名様より寄贈いただきました。ありがとうございました。（お名前掲載の許可をいただけた場合には氏名で掲載させていただきます）

○ 京都教育サポートセンターの活動をご支援ください

ボランティア募集・物品寄贈・賛助会員・寄付会員・などのお問い合わせはお気軽にお申し出ください。電話（075-211-0750）は火曜日～土曜日の11時から18時（時間外も代表在中時は対応いたします）メールは24時間受付 soudan@ksce.jp まで。

集い場○

集い場○（サークル）は活動内容が決まっている中でその内容に対して参加者が集って交流をしたりしていくものです。

| | | | |
|-----------|----------|----------|--------|
| 健康体操教室 | 4月17日火曜日 | 14時半～ | |
| 活字倶楽部 | 4月はお休みです | | |
| 学食 Walk | 4月19日木曜日 | 15時～ | ミーティング |
| 散策部 | 4月19日木曜日 | 15時～ | ミーティング |
| レクリエーション部 | 4月はお休みです | | |
| ものづくりかふえ | 4月20日金曜日 | 14時半～16時 | |

※アポロ活動・集い場○活動への参加には原則として
事前申し込みが必要です。（内部生は事務所内活動は連絡なくても可能ですが
変更の場合もあるので軽くスタッフに伝えるだけでもありがたいです）
また利用生でない方の参加申込は初回に連絡先・名前・年齢が必要です。
2回目には事前アンケートの記入をお願いいたします。

アポロ活動

アポロ活動はフリースクール活動のうち定期的に行っている集い場○活動以外のものを指します。

アポロ11号クルーが月面に最初の一步を踏み出したことに倣って
社会への一步を目指すエネルギーの充填につながることを目的としています。

単発レクリエーションイベント・飲食系・パーティ系統・社会活動・他者主催イベント参加などです。

ボランティアスタッフ・イベント実施日お手伝いスタッフ募集中

月曜日「事務作業系統のお手伝い」

火曜日～土曜日「フリースペースでの話し相手・遊び相手」と「イベント実施時の運営手伝い」

日曜日「イベント実施時の運営手伝い」

オプション 利用者や保護者の面談・相談・訪問活動対応（一定期間後のこの活動希望者）

学習サポート 小学生内容～大学受験・高認受験・発達障がい等向け生活に即した学習・支援学校対策などの活動もあります。

20歳以上45歳くらいまで

曜日固定の有無は問わず月4日以上くらい活動可能な方

まずは見学にお越しください。詳細を説明させていただきます。

075-211-0750 syomu@ksce.jpn.org まで（担当：南山）

編集後記

特定非営利活動法人京都教育サポートセンターは2018年度の運営に突入いたしました。17年目に入りました。皆様のご支援のおかげです。
今後もご支援いただけると幸いです。よろしく願いいたします。

（南山 勝宣）

2018年4月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---------------------|---------------------|----------------------|----|------------------------------------|------------------------|----------------------------------|
| 1 お花見（または8日） | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 お花見（または1日） | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 フリースペース 運営お休み 授業のみ実施 |
| 15 KSCE 社員総会 | 16 | 17 集い場O 健康体操教室 | 18 | 19 集い場O 学食 Walk 散策部ミーティング | 20 集い場O ものづくりかふえ | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 昭和の日 GW 休業 | 30 振替休日 GW 休業 | | | | | |

4月

(3月12日
時点の予定)

2018年度より原則として参加希望者は実施 正会員・スタッフ・監事 対象 10時半～日の前運営日18時までの申し込みが必要で ※利用者対象イベントではありません。
す。(※健康体操教室・ものづくりかふえ・集

い場Oのミーティングは当日参加可能です)

3月31日(土) 年度末パーティ
14時半～17時 参加費 内部生500円
その他700円 4月進学・就職者は無料
申し込み締め切り 30日金曜日18時
4人以上参加で実施。

年度末パーティ実施しない場合はレクリエー
ション部 A 特別編として実施。参加費 内部生 200円
300円 その他500円(パーティ予定なの
でお菓子飲み物が提供されるため)

1日(日)または8日(日)

お花見(醍醐方面予定)

参加費 内部生無料 その他100円 その他
交通費・入園料など必要な場合があります。

※ 桜の開花状況で決定いたします。

ブログ・フェイスブックページ・ツイッターで(40歳くらいまで)

告知いたします。

14日(土) フリースペース運営お休み

(※授業のみ実施)

15日(日) 京都教育サポートセンター

2018年度社員総会

17日(火) 集い場O 健康体操教室

14時半～15時半

参加費 どなたでも無料

(※内部生以外は16時半まで利用可能です)

19日(木) 集い場O

学食 walk・散策部 ミーティング

15時～16時 参加費どなたでも無料

(※内部生以外は17時まで利用可能です)

20日(金) 集い場O ものづくりかふえ

14時半～16時 参加費 どなたでも無料

作成物欲しい方は実費必要です。

(※内部生以外は17時まで利用可能です)

※ここでの内部生は前納居場所利用・前納学習サポー
ト受講者・MES生です。

※アポロ活動・集い場Oはどなたでもご参加可能です。

4月29日(日)～5月6日(日)

GW 休業

毎週日曜・月曜 お休み

KSCE 全般もしくは通信に関するお問い合わせ・ご意見は、下記までお願いします。

E-mail の場合 soudan@ksce.jp、TEL/FAX の場合 075-211-0750、郵便は〒604-8005 京都府京都市中
京区三条河原町東入ル恵比須町 439 早川ビル 6F 京都教育サポートセンター KSCE 通信係 まで。

2018年3月12日発行 特定非営利活動法人 京都教育サポートセンター